

あさひの日だまり



令和8年 7月 24日 (金)

No.11

辰野町立辰野東小学校 文責 大槻

～夏休み100点大作戦～



明日から26日間の長い夏休みに入ります。本日の校長講話で子どもたちには、「夏休み100点大作戦」と銘打って、以下のようなお話をさせていただきました。お家でも話題にさせていただき、一つでも子どもたちがチャレンジできた際には、たくさんほめていただければ幸いです。また、ご家族での時間を大切にしたり、地域のイベントに参加したりするなど、有意義な夏休みを過ごしていただきたいと願っております。



～校長講話より～

いよいよ明日から、楽しみにしていた夏休みが始まりますね。夏休みと言えば、どんなことを思いだしますか？お祭り、海やプール。今年の夏休みは、26日間。楽しいことがいっぱいですが、夏休み明け、今から26日後に、二人の自分がいるとします。みなさんは、どちらになりたいですか？

一人は、「毎日ゲームをして、夜ふかしして、体調悪く、宿題は最後の日に大あわて」という自分。もう一人は、「いっぱい遊んで、挑戦して、最後の日に『最高の夏休みだった！』と言える自分」です。さて、みなさんはどちらになりたいですか？

もちろん、後の方ですね。今日は、そのための「夏休み100点大作戦」を3つお話しします。

まず、一つ目 命を守る 一番大事なことです。

みなさん、宿題を忘れてもやり直せます。テストで失敗しても次があります。では、命はどうでしょうか。命は一回しかありません。やり直しがききません。川、池、自転車、道路、花火。夏休みには楽しいことがたくさんあります。でも事故は、「大丈夫だと思った」「みんながやっていた」そんな時に起こります。だから、『これ、ちょっと危ないかも』そう思ったら、立ち止まる。やめることができれば、その時の自分をほめてください。



二つ目です。 何か一つ、レベルアップする



みなさんはゲームをしますか？ゲームではレベル1のまま終わるより、レベル10になった方がうれしいですね。実は夏休みも同じです。夏休み明けに、「これができた！」と言えるものを一つつくりましょう。本を読むでもいい。縄跳びでもいい。漢字でも、工作でも、料理でもいい。小さなことでもかまいません。夏休みが終わるころ、今の自分より少し成長していたら、それで大成功です。

三つ目 家族をびっくりさせる

夏休み中に、家族を一回以上『おおっ！』とびっくりさせてください。びっくりと言っても、いたずらではありません。自分からあいさつをする。お皿を洗う。洗濯物をたたむ。小さいきょうだいの面倒を見る。そんなことでいいのです。きっとお家の人は、びっくりしながら、うれしくなります。そして、「ありがとう」と言われると、自分もうれしくなります。自分が嬉しくなった時、それはレベルアップのチャンスです。



では、最後にもう一度。夏休み 100 点大作戦です。

①命を守る ②何か一つレベルアップする ③家族をびっくりさせる

この三つです。夏休み明けの初日、校長先生はみなさんの顔を見るのを楽しみにしています。真っ黒に日焼けした顔でもいい。少し大きくなった顔でもいい。でも一番見たいのは、「最高の夏休みだった!」という笑顔です。安全に、元気に、そして挑戦いっぱい夏休みにしてください。それでは、夏休み明け、みなさんが元気に、笑顔で登校してくるのを待っています!

～4年1組が花壇づくりをしました～ FBC (フラワーフラボーコンクール) に応募!

4年1組は「FBC 花壇コンクール」へ応募する学校花壇づくりに取り組んでおり、種から3千本(!!)もの花の苗を育てました。この日は花壇ボランティアの皆さんにもお手伝いいただきながら、クラスで考えた花壇のデザインに合うように、色を分けながら苗を植えていきました。苗が大きくなることを想定して、こぶし一つ分、こぶし一つ分半…と丁寧に植えていく姿が印象的でした。大切に育てた苗への思いが伝わって来るようでした。花が咲いて花壇が完成するのが今から楽しみです!



さらには、花壇に使わなかった苗についてクラスで相談し、お世話になった保育園にプレゼントしたい!と願いをもち、**各保育園へプレゼント**しました。素敵なアイデアですね!

～第3回クラブ その②～

ボールスポーツクラブ



今回はバスケットボールに挑戦しました。どんな風にシュートを打ったら、ゴールに入りやすいのか、コツを教えていただいて、みんなでシュート練習。3連続でシュートを決める子もいました! 私も

チャレンジしましたが、教えていただいたコツを意識すると、シュートが決まり、みんなと何回シュートが入ったか数えるのが楽しかったです。次のクラブでは、試合をするそうです。この日はとても暑い日でしたが、みんな張り切って頑張っていました。

夏休み明けもクラブの講師の先生方には大変お世話になります、子どもたちのために本当にありがとうございます。